

千葉大学医学部附属病院で神経核内封入体病と診断された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年8月4日

脳神経内科

現在、脳神経内科では、「神経核内封入体病における神経障害の病態解析」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

- ・2017年4月1日～2024年3月31日の間に当院入院歴がある神経核内封入体病の方

1. 研究課題名

「神経核内封入体病における神経障害の病態解析」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院生命倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

神経核内封入体病患者について、特定の神経症状と臨床情報、症状、診察所見、神経心理学的検査、頭部MRI所見、脳血流SPECT所見との関連を比較します。また症状の程度と遺伝子変異との関連を比較します。病理解剖を行った症例では神経症状と関連する部位の病理学的検討を行います。これにより神経核内封入体病による各神経症状の特徴や関連する脳のネットワーク機構を解明し、今後の治療に役立てることを目的とします。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている性別、生年月、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、治療

歴、自覚症状、神経学的診察所見などの診療情報のほか、神経心理学的検査、血液検査、髄液検査、頭部 MRI 検査、脳血流 SPECT 検査、神経伝導検査、脳波検査、皮膚病理所見、遺伝子検査のデータを利用します。病理解剖を行った症例では剖検所見を合わせて利用します。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：脳神経内科 医師 杉山 淳比古

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院脳神経内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

脳神経内科 医師 杉山 淳比古

043（222）7171 内線 5414